

平成 22 年度予算の特色

一般会計

(予算編成方針)

平成 22 年度における本町の財政状況は、町税収入について、急激な景気悪化により大幅な法人町民税、固定資産税の減収が見込まれる。さらに町たばこ税についても、制度改正等による減収が予想され、歳入全体として前年度並の財源が確保できないなど財政状況の急激な悪化が見込まれる。

また歳出においては、依然として高い水準の公債費を要し、併せて少子高齢化の進展等による福祉関係経費の増嵩、公共施設の経年劣化による改修費用等義務的経常経費が増加し、財政構造の硬直化が一段と進み、前年度以上に大幅な財源不足が生じる見込みである。

一方では平成 20 年度決算に基づく健全化判断比率が、早期是正基準である 18% を超えたことから公債費負担適正化計画を策定することとなり、公債費負担の早期の改善が求められている状況である。

このような状況の中で、平成 22 年度当初予算編成にあたっては、「未来に羽ばたく、夢と安らぎのあるまちづくり」を推進するため、竜王町財政健全化に向けた取り組みに則り改革を確実に推進するとともに、住民の目線にたった住民本意の施策を具体化させるものとする。

(予算額)

一般会計の総額は、47 億 4,200 万円となり前年度に比べ 1 億 5,500 万円の減、率にして 3.2% の減となった。

前述の予算編成方針でも述べているとおり、平成 22 年度は前年度以上の大幅な減収が生じること、実質公債費比率の改善に向けた繰上償還等を行う必要が生じていること等、一刻も早い時期でのまちの財政基盤の強化が必要と考える。また、前述したとおりの財政的な状況により早期の改革が必要となった事実は否めないものの、今日の多種多様な住民ニーズに全て行政が応えていくという考え方については、物理的にも限界があり、場合によっては改める必要がある。また、新たな視点による多様な住民活動によってこそ解決し得るものもあると考えられる。これらを踏まえつつ、行政のみが大部分を担ってきた『公共』について、住民も『公共』の役割の一部を担う（自助・共助・公助）という考え方に基づいた予算編成を行った。

なお、このような状況ではあるものの、平成 20 年度から着手しているまちづくり交付金事業を活用し、住民活動や交流の拠点となるタウンセンターにおいて中核事業

となる公民館コンバージョン事業や、その周辺整備を一層精査しながら実施していくこととする。また、失業率が高止まりしていること、雇用状況の改善の兆しが見えてこない実態を受けた国の雇用対策、県の雇用対策に本町も呼応しつつ、必要な事業に応じた雇用の創出について、緊急雇用創出特別対策事業、ふるさと雇用創出事業を有効に活用して事業を実施することとする。

[歳入]

- ・ 町税は、法人町民税等の大幅な減収により全体として14.0%の減となった。
- ・ 地方消費税交付金については、総務省推計値により9.1%の減となった。
- ・ 平成21年度当初の道路特定財源の一般財源化に伴い、新たに地方揮発油譲与税が創設されたが、自動車重量譲与税や地方道路譲与税にこれを加算しても減収となった。
- ・ 地方交付税は、6年連続で普通交付税不交付団体となる見込みで、特別交付税については、通常分に関して平成20年度から経年措置として減額されるため23.3%の減となった。
- ・ 国庫支出金は、子ども手当実施に伴う児童福祉費負担金の増、まちづくり交付金事業等の土木費国庫補助金の増により98.8%の大幅な増となった。
- ・ 県支出金は、緊急雇用創出事業臨時特例基金、ふるさと雇用再生特別基金を有効に活用した雇用対策にかかる補助金の増により29.5%の大幅な増となった。
- ・ 繰入金は、財源不足を補うため、財政調整基金からの繰り入れ、および教育施設整備に伴う教育厚生施設等整備基金からの繰り入れを行うことにより47.0%の増となった。
- ・ 町債は、地方税収入の大幅な減少見込みによる臨時財政対策債の他、まちづくり交付金関係事業、消防防災設備整備事業による借入は行うものの7.8%の減となった。

[歳出]

- ・ 総務費は、コミュニティ助成事業による増はあるものの、システムリプレース事業が完了したことによる事業費の減等により減少した。
- ・ 民生費は、子ども手当の支給開始に伴い大幅に増加した。
- ・ 衛生費は、水道事業による配水池等整備に伴う償還利子増にかかる水道事業補助金の増額により増加した。
- ・ 農林水産業費は、国営日野川地区土地改良事業負担金の減により大幅に減少した。
- ・ 土木費は、まちづくり交付金事業での公民館コンバージョン事業等により大幅

に増加した。

- ・ 消防費は、消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ整備事業の完了により減少した。
- ・ 教育費は、町立小学校での校内LAN工事の完了等により減少した。

(主な事業)

まちづくりの夢をかなえる **7つの柱**

「安心して暮らせる安心・安全のまちづくり」

- ・ 交通安全施設整備事業 200万円
道路照明灯、路面標示、交通安全施設設置工事
- ・ 道路橋梁維持補修費 917万4千円
橋梁点検調査業務
- ・ 防災基盤整備事業 664万7千円
防火水槽設計委託および設置工事
- ・ 学校安全指導員設置事業 419万7千円
児童生徒の通学時の安全確保のための指導員の設置
- ・ 通学安全対策事業 22万8千円
スクールガードおよび子ども110番の家設置

「快適でうるおいのある生活環境づくり」

- ・ 自ら考え自ら行うまちづくり事業 950万円
各自治会による地域生活環境整備事業補助
- ・ コミュニティ助成事業 2,560万円
集会所建築、事務備品等の整備
- ・ 地籍調査事業費 577万9千円
山面地区地籍調査測量業務委託
- ・ 公共交通対策費 1,369万2千円
生活交通路線維持費補助金、コミュニティバス運行委託補助金
- ・ 浄化槽設置事業 260万3千円
5人槽4基、6～7人槽3基
- ・ 生活排水対策推進計画策定事業 130万円
生活排水対策推進計画策定業務委託
- ・ ごみ減量化推進事業 52万5千円
ごみ減量化チャレンジ優良地区報奨金
生ごみ処理機・堆肥枠、コンポスト購入補助金
- ・ 地域グリーンニューディール基金事業 400万円

環境監視員賃金、環境パトロール業務

- ・水道事業補助 2, 379万3千円
水道事業補助金
- ・緊急雇用創出特別推進事業 500万円
雪野山保全整備業務委託
- ・町単独道路橋梁改良工事 1, 727万8千円
松が丘バス停通路新設工事等
- ・屋外広告物管理事業 42万円
屋外広告物管理に関する事務
- ・まちづくり交付金事業 2億6, 757万4千円
公民館コンバージョン工事、町道小口八重谷線歩道拡幅工事
子育てふれあい公園整備工事

「地域に活力を与えるたくましい産業づくり」

- ・土産土法ビジネスサポート事業 521万2千円
特産品産地育成事業等メニュー方式による報奨金制度
研究業務委託料
- ・アグリサポート支援事業 250万円
農繁期における農作業サポート支援業務委託
- ・農地・水・環境保全向上対策事業 1, 619万円
共同活動支援・営農活動支援
- ・商工振興対策事業 300万円
プレミアム商品券発行補助金
- ・観光費一般管理事業 239万4千円
着地型旅行観光活性化プロジェクト事業
- ・ふるさと雇用再生特別推進事業 283万9千円
道の駅「竜王かがみの里」における観光案内等業務委託

「健やかに暮らせる健康福祉のまちづくりと子育て支援」

- ・地域生活支援事業 1, 083万9千円
町障害者生活支援センター設置、手話通訳者の派遣事業、東近江圏域
共同事業委託
- ・障害者自立支援対策事業 301万9千円
通所サービス利用促進事業補助金他
- ・社会参加促進助成事業 400万円

障害者等の日常生活における社会参加促進に向けた交通手段の確保
のためのタクシー運賃、ガソリン費助成

- ・ 障害児地域活動支援事業 396万8千円
障害児ホリデーサービス事業
夏季・春季休暇期間中の創作的活動、機能訓練等を通して自立促進
障害児学童クラブ（どんぐりクラブ）への運営補助
- ・ 敬老のつどい開催事業 250万円
敬老のつどい開催事業補助金、実施については各自治会単位
- ・ 地域型在宅介護支援センター事業 523万4千円
いきいき百歳筋力アップ事業委託他
- ・ 生活支援事業 404万3千円
紙おむつ購入費助成他
- ・ 福祉医療費助成事業 1億988万5千円
福祉医療費扶助（乳幼児・身障・老人・母子父子）
乳幼児医療費無料化、中学生まで入院費無料化
- ・ 放課後児童健全育成事業 1,270万5千円
西っ子児童クラブ（西小校区）、まっぼっくり児童クラブ（竜小校区）
に事業委託
- ・ 福祉年金支給事業 392万4千円
母子、父子、心身障害児福祉年金 月額3,000円
- ・ 発達支援事業 57万4千円
障害児の早期発見、早期療育のための発達支援員の配置等
- ・ 子ども手当 2億4,791万円
次世代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援する観点
から中学校終了まで支給
- ・ 精神保健福祉事業 31万3千円
地域自殺対策緊急強化交付金を活用した自殺予防に向けた研修会開催等
- ・ 健康増進事業 1,073万円
特定健康診査・保健指導、女性特有のがん検診、その他がん検診
肝炎・歯科検診、栄養健康相談等
- ・ 肺炎球菌ワクチン予防接種費助成モデル事業 50万8千円
肺炎球菌を要因とする肺炎予防ワクチンの接種費用助成
- ・ 母子保健事業 1,026万6千円
乳幼児・妊婦健診助成、家庭訪問、不妊治療費助成
- ・ 試行的預かり保育事業 301万7千円

竜王幼稚園・竜王西幼稚園において、試行的に午後からの預かり保育を実施

「新しい時代を拓く人づくり魅力ある町づくり」

- ・ 児童・生徒教育相談カウンセラー設置事業 5 7 万円
児童・生徒の教育相談
- ・ 心のオアシス相談員派遣事業 7 5 万円
小・中学生の悩み相談（年間150回）
- ・ ふるさと雇用再生特別推進事業 2 5 1 万 8 千円
教育支援室事業委託
- ・ すこやか支援員事業 1 8 1 万円
小学校1年生を対象に学校生活への早期定着を目的としてきめ細やかな指導を行うための支援員設置
- ・ 問題を抱える子ども等の自立支援事業 1 4 9 万 4 千円
学校不適應の未然防止および社会不適應者に対する自立支援等実施のための臨床心理士招へい
- ・ 別室登校対応指導員配置事業 5 2 9 万 7 千円
学校不適應児童等の多様な要因に対応するための別室設置および支援員の配置
- ・ スーセーマリー市中中学生交流受入事業 4 9 万 8 千円
米国姉妹都市スーセーマリー市からの中学生等使節団受け入れ
- ・ 学校不適應支援事業 1 4 5 万円
問題のある児童生徒の自立と学校不適應の解消を図るための支援員の招へい
- ・ 地域子ども教室推進事業 1 6 0 万 3 千円
地域子ども教室（わんぱく交竜塾）、サマーアドベンチャーの実施
- ・ 図書館図書購入 5 6 6 万 1 千円
ブックスタート事業（9万6千円）

「生活を高める個性豊かな薫り高い文化づくり」

- ・ 公民館教室・講座開設事業 1 3 6 万 3 千円
吹奏楽教室等
- ・ 文化財保存活動事業 2 9 6 万 2 千円
埋蔵文化財整備業務委託他
- ・ 文化財調査事業 7 9 3 万 4 千円
文化財確認調査業務委託

「行財政改革をすすめる揺ぎない町づくり」

- ・ 基幹系システム開発・管理事業 3,077万9千円
 基幹系電算システムリース他
- ・ 情報系システム開発・管理事業 1,036万3千円
 システム機器・ソフト保守料、パソコン・ウィルスソフト導入
- ・ 総合基本計画審議会費 37万8千円
 総合基本計画審議会開催
- ・ 第5次総合計画策定事業 425万7千円
 第5次総合計画策定業務委託

その他

- ・ 知事選挙費 798万8千円
- ・ 参議院議員選挙費 853万3千円
- ・ 日野川流域土地改良区総代選挙費 23万5千円
- ・ 基幹統計調査事業（国勢調査他） 885万3千円